

豊富町立豊富小学校、豊富町定住支援センター図書室の取組

○並行読書

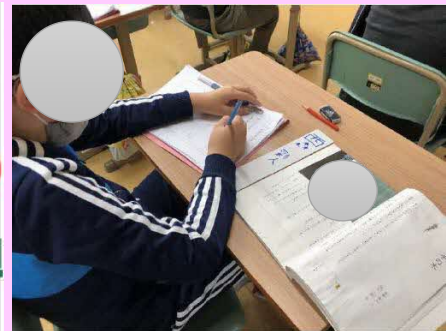
豊富小学校では、児童が読書活動を広げることができるよう、並行読書を行う単元を年間指導計画に位置付け、児童が主体的な読書活動を行うことができるよう、指導の重点化を図りました。

第3学年国語科「物語のおもしろいところを紹介しよう」の単元では、町図書室と連携を図り、児童が紹介しやすい本や単元と関連する本などの貸出を受けました。

単元に並行読書を位置付けたことで、児童の読書の幅が広がるとともに、本の隅々まで何度も読み返す児童が多く見られるなど、児童の読書への興味・関心が高まりました。

◎【思考・判断・表現】ヒオ【態度】	
◎【知識・技能】(1)オ	
◎【思考・判断・表現】○エ【態度】	
が、どのようにかわったかを考えて読もう	
◎【知識・技能】(1)ウ ◎【思考・判断・表現】○エ	並行読書
◎【思考・判断・表現】○オ【態度】	
◎【知識・技能】(3)エ ◎【思考・判断・表現】○オ	
◎【思考・判断・表現】○カ【態度】	
つもんしたり答えたりして、話し合おう	
◎【知識・技能】(2)ア	

並行読書を年間指導計画に位置付け、指導の重点化を図っています。



並行読書の単元における児童の学習活動の様子



教室で利用される町図書室の本



ボランティア団体による読み聞かせの様子

○町図書室、ボランティア団体との連携

豊富小学校では、町図書室が各学年の発達段階に合わせて選書した本の貸出を受け、各学級に設置しています。貸出を受けた本は、学期ごとに新たに選書された町図書室の本と入れ替えています。教室内に常に本がある状態にすることにより、休み時間などの空き時間に児童が本を手に取り読書する様子が見られました。

低学年を対象に町のボランティア団体による読み聞かせを2週に1回実施しています。また、読み聞かせ活動を活性化させるため、教職員や担任以外の大人による読み聞かせなどの取組を進め、児童の読書に対する興味・関心を高める機会となりました。